

平成 24 年 4 月 吉日

〒194-0215 東京都町田市小山ヶ丘 2-2-5 Tel 048-798-4711

株式会社 志成データム 代表取締役 齋藤之良

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-3-4 Tel 03-6424-5941

日本メディカルファンド株式会社 代表取締役 渡辺一夫

イブニングセミナー ～ 心血管・脳血管障害 予防に向けた最新の取り組み ～のご案内

拝啓

陽春の候を迎え、皆様に於かれましては、ますますのご清祥をお慶び申し上げます。

早速ですが、この度、私どもでは、来たる 4 月 21 日（土）に高齢化社会を迎え、増加する生活習慣病、特に心血管・脳血管予防に向けての最新の研究、取り組みについて標記セミナーを開催することと致しました。

セミナーでは、座長に杏林大学医学部総合医療学教授 林 潤一先生をお迎えし、生活習慣病と動脈硬化、加齢や運動が動脈硬化に与える影響、血管指標の簡易な測定方法など、心血管・脳血管障害予防に向けた最新の取り組みについて、専門の先生方からやさしく解説して頂きます。

日頃、生活習慣病の予防、指導にご関心の深い皆様方にお運び頂ければ誠に幸甚です。

参加申込みにつきましては、大変お手数お掛け致しますが、お席の準備の関係上、添付の用紙にて FAX で頂くか、あるいは、下記サイトにてお申し込み頂ければ幸いです。

参加お申し込み → <http://www.jmfund.co.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=entry2>

時節柄、何かとご多用と存じますが、皆様の心よりお越しをお待ち申し上げます。

敬具

記

イブニングセミナー ～ 心血管・脳血管障害 予防に向けた最新の取り組み ～

日時： 4 月 21 日（土） 18:30 ～ 21:00

場所： 文京シビックセンター 26 階 スカイホール

東京都文京区春日 1-16-21 Tel 03-3812-7111

東京メトロ 後楽園駅 丸の内線(4a・5 番出口)・南北線(5 番出口)徒歩 1 分

都営地下鉄 春日駅 三田線・大江戸線(文京シビックセンター連絡口)徒歩 1 分

対象： 生活習慣病の予防、指導に関わる皆様

参加費： 無料

座長： 日本 AS (Arterial Stiffness) 学会会長 杏林大学医学部総合医療学 教授 林 潤一 先生

講演 1： 血管指標と血圧情報が同時に得られる医用電子血圧計の開発

(独)産業技術総合研究所 人間福祉医工学研究部門 研究員 小峰秀彦 先生

講演 2： 振動型カフを用いた動脈硬化度評価の最近の進展

(独)理化学研究所 次世代生命体統合シミュレーション研究推進 G 研究員 梁 夫友 先生

情報交換会： 座長、講師の先生方を交えた質疑、情報交換を、軽食をお召し上がりながらお楽しみ下さい。

以上

加齢や運動が動脈硬化、自律神経機能に与える影響をみる

小峰秀彦／菅原順

vascularaging@m.aist.go.jp

人間福祉医工学研究部門 身体適応支援工学グループ

つくば中央

研究のポイント

- 加齢に伴う動脈硬化の早期発見が心血管系疾患発症予防に不可欠
- 動脈硬化度の高精度評価はもとより、簡便に測定し早期に発見する技術開発も必要
- 動脈硬化という加齢現象を食い止める方法はあるのか？－習慣的身体活動の効果－

研究のねらい

加齢に伴って生じる動脈硬化は、高血圧や立ちくらみなどの自律神経調節の機能低下をもたらし、ひいては心血管系疾患をもたらす。心血管系疾患は我が国の死亡率の約3割を占めるとともに、要介護の主要因でもあることから、動脈硬化の早期発見、維持・改善は、国民一人ひとりの健康の保持・増進、QOL向上に不可欠な課題といえる。我々のグループでは、動脈硬化度を簡便かつ鋭敏に評価する測定技術を開発するとともに、習慣的な身体活動を実施することで、加齢に伴う動脈硬化度の増大や自律神経機能の低下を抑制できるかどうかを研究している。

研究内容

1. 動脈硬化に対する加齢および運動の影響

大動脈の動脈硬化度は加齢に伴い増大する（図1上）。これに対し、運動習慣のない中年男性を対象に4ヶ月間のジョギングトレーニングを実施したところ、動脈硬化度は6～7%程度改善した（図1下）。すなわち、加齢によって高まった動脈硬化度は習慣的な運動実施で改善する。ただし、その効果はトレーニング中止後、比較的早期に消失すると考えられる。

2. 動脈硬化を簡単に計測する装置の開発

数ヶ月間の運動習慣が、動脈硬化度を変化させる事実を考えると、動脈硬化度は自己管理の対象であると言える。動脈硬化度を自己管理するためには、簡単に動脈硬化度を計測できるツールが必要となる。そこで我々は、血圧を計測する時、上腕に巻いたカフに伝播する脈波を解析することで、血圧と同時に動脈硬化度を計測できる装置を開発した（図2）。

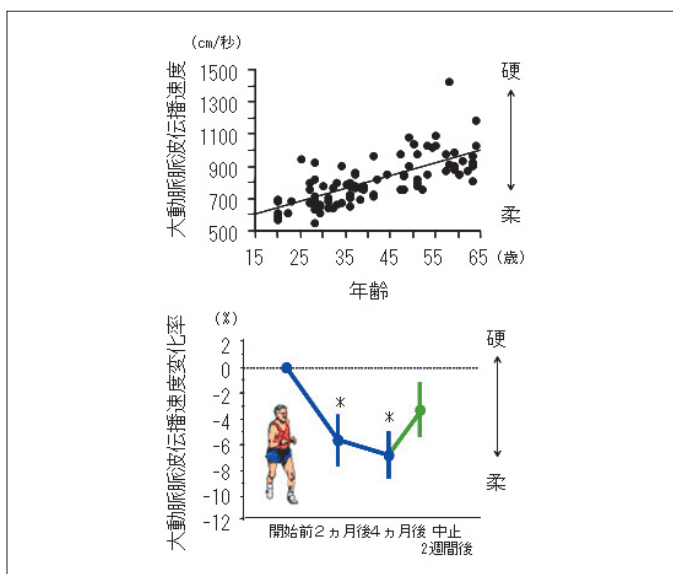


図1 動脈硬化に対する加齢・運動の影響

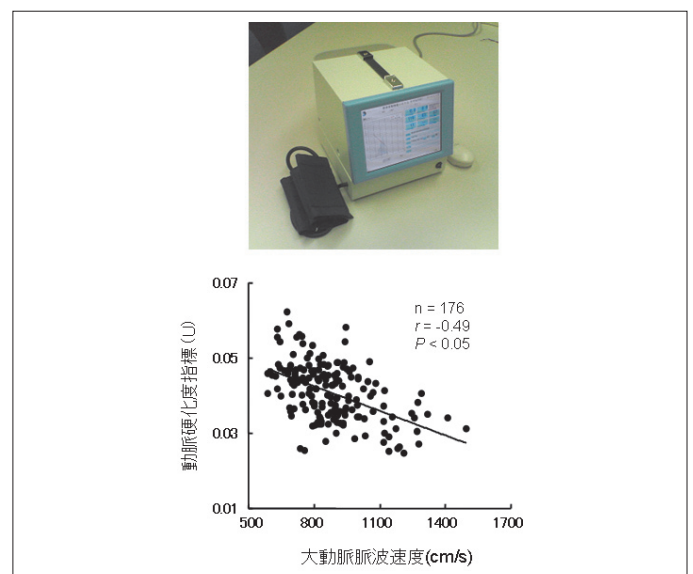


図2 (上) 誰でも簡単に計測できる動脈硬化度計測装置
(下) 既存の動脈硬化度指標と開発した動脈硬化度指標との関係

イブニングセミナー ～ 心血管・脳血管障害 予防に向けた最新の取り組み ～

日時: 4月21日(土) 18:30～21:00

場所: 文京シビックセンター 26階 スカイホール

2012年____月____日

 ご出席 ・ ご欠席 ・ 欠席だが資料送付希望 (チェックをお願い致します)

ご住所 〒 _____

お電話 _____

FAX _____

ご所属機関 _____

部門 _____

ご役職 _____

(フリガナ) _____

お名前 _____様

Mail _____

※ご同伴者様がいらっしゃいましたら、こちらにご記入下さい。

ご住所 〒 _____

お電話 _____

FAX _____

ご所属機関 _____

部門 _____

ご役職 _____

(フリガナ) _____

お名前 _____様

Mail _____

※ご同伴者様、2名様以上の場合には、本用紙をコピーしてお使い下さい。その節は誠に恐縮ですが、会場定員を超過しました場合には、ご連絡差し上げて調整させて頂く場合がございます。何卒、ご了承お願い申し上げます。

※ご記入頂きました情報は、本セミナー関連のご案内に限り使用致します。

※ご記入頂きましたら、お手数ですが、FAXもしくはメールにてお送り下さい。 info@jmfund.co.jp